



# 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 10 日

上場会社名 グリーンホスピタルサプライ株式会社 (コード番号：3360 東証第二部)  
 (URL <http://www.ghs-inc.co.jp/>)  
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 古川 國久  
 問合せ先責任者 役職名 取締役常務執行役員管理本部長 氏名 黒田 敏史  
 TEL (06) 6369 - 0130

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有(連結：新規3社、  
 合併による減少1社)

## 2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	35,678	(13.7)	1,539	(9.8)	1,651	(6.6)	920	(14.7)
17年3月期第3四半期	31,374	(-)	1,706	(-)	1,549	(-)	802	(-)
(参考)17年3月期	52,860		2,713		2,515		1,305	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	3,207	76	-	-
17年3月期第3四半期	19,098	53	-	-
(参考)17年3月期	29,025	29	-	-

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。  
 2. 平成 17 年 8 月 19 日付で普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割(無償交付)を行っており、当四半期の 1 株当たり四半期純利益は、当該株式分割が期首に行われたものとして算出しております。  
 3. 株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の 17 年 3 月期第 3 四半期、17 年 3 月期の 1 株当たり四半期(当期)純利益は、それぞれ 3,819 円 71 銭、5,805 円 06 銭であります。

### [ 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等 ]

トータルパックシステム事業においては、例年通り、プロジェクト受注案件の売上が第 4 四半期に偏っていることから、当事業年度においても、当第 3 四半期は既存取引先の医療機器更新等の固定売上主体の構成となりました。また、当事業年度に顕著となった病院再生ビジネスへの商機に対して、積極的にビジネスチャンスを取り込んだ結果、大型再生案件を第 4 四半期に完了する予定となっております。この他にも変革の中で生まれた新たなビジネスモデルである放射線検査サービス提供業務の第一号案件である国立大学法人東京医科歯科大学PETセンターの運営(グリーンエンジニアリング株式会社運営)も平成 17 年 11 月よりスタートし、立ち上げ期のため経常損失を抱えておりますが計画通りに順調に実績を重ねております。その結果、売上高 13,620,275 千円、営業利益 1,606,903 千円となりました。

メディカルサプライ事業においては、国立大学法人福井大学に引き続き国立大学法人富山大学の院外型SPDシステムを利用した診療材料の一括供給に伴う売上を平成 17 年 12 月より計上することとなりました。一方で、引き続き院外型SPDシステムの運営合理化によるコスト削減と利益率向上を図ってまいりました。その結果、売上高 16,321,785 千円、営業利益 470,723 千円となりました。

ヘルスケア事業では、調剤薬局部門の売上は順調に推移するとともに、ライフケア部門とのコラボレーションを企図し、介護付有料老人ホーム「エスペラル城東」施設(ホロニックライフ株式会社所有)に新規に城東店(有限会社わかば運営)を平成17年11月に開設。一方で、経営合理化のため小規模店の南方店(有限会社わかば運営)を平成17年12月に閉鎖いたしました。また、病院門前薬局として運営してきた羽曳野店(イング株式会社運営)の病院移転に伴う移転先店舗の建築工事に着手するとともに、新規門前薬局守口店(有限会社わかば運営、平成18年8月開設予定)の開設のために移転新築病院の門前薬局店舗の建築工事に着手する予定としております。

ライフケア部門については、第1号施設「ウェルハウス尼崎」(ユナイトライフ株式会社運営、入所定員146人)は満室にて入所待機者を抱える状況で運営しており、平成17年6月に開設した第2号施設「エスペラル城東」(ホロニックライフ株式会社運営、入所定員308人)は、平成18年1月末日現在89名の入所者を迎え入れ、順調に推移するとともに、運営も安定化したことから平成18年3月より通所介護業務をスタートする予定としております。また、第3号施設「ライフコート春秋」(春秋ライフ株式会社運営、入所定員160人)は平成18年9月、第4号施設「守口佐太有料老人ホームラガール」(弘道会ライフ株式会社運営、入所定員189人)は、平成18年10月開設に向け順調に建設工事が進捗しております。その結果、ライフケア部門の立ち上げ期の経常損失を抱えながらも、売上高5,231,673千円、営業利益178,048千円となりました。

その他事業は、業績も堅調に推移しております。また、ペット市場への参入のための新規事業となります「千里桃山台動物病院」は、平成18年4月開院に向け、順調に建設工事が進んでおります。その結果、売上高505,103千円、営業利益42,910千円となりました。

以上の結果、当第3四半期の連結売上高は35,678,838千円、連結経常利益は1,651,275千円、連結四半期純利益は、920,666千円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年3月期第3四半期	55,893	10,879	19.5	37,904	45
17年3月期第3四半期	36,376	4,634	12.7	102,635	60
(参考)17年3月期	47,410	10,130	21.4	175,958	20

(注) 1.平成17年8月19日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割(無償交付)を行っており、当四半期の1株当たり株主資本は、当該株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

2.株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の17年3月期第3四半期、17年3月期の1株当たり株主資本は、それぞれ20,527円12銭、35,191円64銭であります。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	9,900	10,652	13,900	3,540
17年3月期第3四半期	173	1,280	1,630	2,873
(参考)17年3月期	6,269	1,032	2,605	10,193

[ 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等 ]

財政状態(連結)の変動状況

資産は、55,893,576 千円となり、前連結会計年度末に比べて 8,483,162 千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が 7,098,836 千円、受取手形及び売掛金が 5,981,177 千円それぞれ減少した一方、たな卸資産が 1,178,058 千円、短期貸付金が 5,237,147 千円、病院再生事業に係る一時的な立替金が 9,525,152 千円、ヘルスケア事業のライフケア部門での施設に係る投資等により有形固定資産が 4,517,911 千円それぞれ増加したこと等であります。

負債は、44,988,048 千円となり、前連結会計年度末に比べて 7,740,490 千円増加いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が 6,090,903 千円、未払法人税等が 237,725 千円減少した一方、短期借入金及び長期借入金がそれぞれ 10,890,000 千円、3,467,763 千円増加したこと等であります。

資本は、10,879,051 千円となり、前連結会計年度末に比べて 748,965 千円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払等により利益剰余金が 287,911 千円減少した一方、四半期純利益の計上により利益剰余金が 920,666 千円、その他有価証券評価差額金が 116,209 千円増加したこと等であります。

連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、9,900,445 千円の支出となりました。その主な要因は、売上債権が 5,981,177 千円の減少となったものの、仕入債務が 6,090,903 千円減少し、立替金が 9,525,152 千円の増加となったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10,652,875 千円の支出となりました。その主な要因は、短期貸付金の回収による収入が 872,100 千円あった一方、有形固定資産の取得による支出が 5,021,157 千円、短期貸付による支出が 6,110,000 千円あったこと等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、13,900,361 千円の収入となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出 1,290,874 千円、配当金の支払による支出 256,849 千円があった一方、短期借入金の増加が 10,890,000 千円、長期借入による収入が 4,750,085 千円あったこと等であります。

以上により、現金及び現金同等物は 6,652,960 千円減少し、当四半期末残高は 3,540,785 千円となりました。

[ 参 考 ]

平成 18 年 3 月期の連結業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	60,000	3,000	1,630

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 5,679 円 19 銭

平成 17 年 11 月 10 日に発表いたしました業績予想と変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

添付資料

1. (要約) 四半期連結貸借対照表
2. (要約) 四半期連結損益計算書
3. 四半期連結剰余金計算書
4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
5. セグメント情報

以 上

1. (要約)四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期末 (平成17年12月31日現在)		前年同四半期末 (平成16年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成17年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1 現金及び預金	3,627,190		4,157,783		10,726,026	
2 受取手形及び売掛金	11,739,750		13,421,867		17,720,927	
3 たな卸資産	3,174,373		2,707,868		1,996,314	
4 短期貸付金	5,454,250		993,000		217,102	
5 立替金	9,525,553		5,755		401	
6 その他	1,784,089		1,466,380		1,256,114	
貸倒引当金	111,922		74,215		76,100	
流動資産合計	35,193,285	63.0	22,678,439	62.3	31,840,787	67.2
固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	4,690,437		1,723,636		1,675,936	
(2) 賃貸資産	1,380,344		1,520,542		1,478,654	
(3) 土地	4,880,450		4,416,428		4,855,663	
(4) 賃貸土地	2,654,642		759,829		758,454	
(5) その他	1,483,446		1,671,851		1,802,701	
有形固定資産合計	15,089,321		10,092,289		10,571,409	
2 無形固定資産	454,344		579,969		553,011	
3 投資その他の資産						
(1) 長期貸付金	1,113,774		1,082,785		1,058,727	
(2) その他	4,311,180		2,219,655		3,657,823	
貸倒引当金	268,329		276,416		271,345	
投資その他の資産 合計	5,156,625		3,026,023		4,445,205	
固定資産合計	20,700,291	37.0	13,698,282	37.7	15,569,627	32.8
資産合計	55,893,576	100.0	36,376,722	100.0	47,410,414	100.0

区分	当第3四半期末 (平成17年12月31日)		前年同四半期末 (平成16年12月31日)		前連結会計年度末 (平成17年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
<b>(負債の部)</b>						
<b>流動負債</b>						
1 支払手形及び買掛金	16,359,482		13,996,631		22,450,385	
2 短期借入金	13,086,000		4,826,000		2,196,000	
3 一年以内返済予定 長期借入金	909,429		1,408,348		917,981	
4 未払法人税等	419,225		267,665		656,951	
5 賞与引当金	108,868		83,269		188,276	
6 その他	2,217,645		1,840,661		1,655,727	
流動負債合計	33,100,650	59.2	22,422,575	61.7	28,065,321	59.2
<b>固定負債</b>						
1 社債	1,530,000		2,614,000		2,522,000	
2 長期借入金	9,062,435		5,929,364		5,594,672	
3 退職給付引当金	74,579		67,567		69,063	
4 役員退職慰労引当金	40,500		36,100		37,200	
5 その他	1,179,882		665,979		959,300	
固定負債合計	11,887,397	21.3	9,313,010	25.6	9,182,236	19.3
負債合計	44,988,048	80.5	31,735,586	87.3	37,247,557	78.5
<b>(少数株主持分)</b>						
少数株主持分	26,476	0.0	6,830	0.0	32,770	0.1
<b>(資本の部)</b>						
資本金	2,288,862	4.1	570,800	1.6	2,288,862	4.8
資本剰余金	3,215,087	5.7	376,150	1.0	3,215,087	6.8
利益剰余金	4,509,158	8.1	3,373,049	9.3	3,876,403	8.2
その他有価証券 評価差額金	866,523	1.6	314,525	0.8	750,313	1.6
自己株式	580	0.0	220	0.0	580	0.0
資本合計	10,879,051	19.5	4,634,305	12.7	10,130,086	21.4
負債、少数株主持分 及び資本合計	55,893,576	100.0	36,376,722	100.0	47,410,414	100.0

## 2 . (要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		前年同四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	35,678,838	100.0	31,374,611	100.0	52,860,676	100.0
売上原価	30,982,135	86.8	26,474,379	84.4	45,508,605	86.1
売上総利益	4,696,703	13.2	4,900,232	15.6	7,352,070	13.9
販売費及び一般管理費	3,157,588	8.9	3,193,544	10.2	4,638,168	8.8
営業利益	1,539,114	4.3	1,706,687	5.4	2,713,901	5.1
営業外収益	330,264	0.9	178,559	0.6	253,067	0.5
営業外費用	218,103	0.6	335,513	1.1	451,520	0.8
経常利益	1,651,275	4.6	1,549,733	4.9	2,515,448	4.8
特別利益	168	0.0	95,634	0.3	95,634	0.2
特別損失	3,138	0.0	6,673	0.0	117,375	0.2
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,648,304	4.6	1,638,694	5.2	2,493,706	4.8
法人税、住民税 及び事業税	787,892	2.1	647,513	2.0	1,031,785	2.0
過年度法人税等			33,129	0.1	34,498	0.1
法人税等調整額	50,788	0.1	163,040	0.5	126,918	0.2
少数株主損失	9,466	0.0	7,340	0.0	5,200	0.0
四半期(当期)純利益	920,666	2.6	802,351	2.6	1,305,705	2.5

### 3. 四半期連結剰余金計算書

	当第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	前年同四半期 (自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	3,215,087	299,800	299,800
資本剰余金増加高			
増資による新株式の発行		76,350	2,915,287
資本剰余金四半期末(期末) 残高	3,215,087	376,150	3,215,087
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	3,876,403	2,677,242	2,677,242
利益剰余金増加高			
1 四半期(当期)純利益	920,666	802,351	1,305,705
2 連結範囲変更に伴う 利益剰余金増加高		505	505
利益剰余金減少高			
1 配当金	258,311	83,250	83,250
2 役員賞与	29,600	23,800	23,800
利益剰余金四半期末(期末) 残高	4,509,158	3,373,049	3,876,403

#### 4.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	当第3四半期	前年同四半期	前連結会計年度
	(自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	(自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)	(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
営業活動による キャッシュ・フロー			
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,648,304	1,638,694	2,493,706
減価償却費	417,370	318,723	434,215
持分法による投資損益	11,579	14,255	8,028
売上債権の減少(増加)額	5,981,177	1,583,160	2,715,899
たな卸資産の 減少(増加)額	1,178,058	848,992	137,438
仕入債務の増加(減少)額	6,090,903	1,379,568	7,074,186
立替金の減少(増加)額	9,525,152	5,177	176
その他	208,168	43,905	334,195
小計	8,967,010	1,277,189	7,475,113
利息及び配当金の受取額	252,973	149,506	173,743
利息の支払額	152,720	163,783	258,439
法人税等の支払額	1,033,688	1,089,885	1,121,058
営業活動による キャッシュ・フロー	9,900,445	173,027	6,269,359
投資活動による キャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得 による支出	5,021,157	2,766,333	3,486,653
有形固定資産の売却 による収入	16,245	666,032	711,807
短期貸付による支出	6,110,000	1,336,250	1,336,250
短期貸付金の回収 による収入	872,100	1,696,550	2,472,447
その他	410,063	459,080	606,062
投資活動による キャッシュ・フロー	10,652,875	1,280,921	1,032,586
財務活動による キャッシュ・フロー			
短期借入金 の純増加(減少)額	10,890,000	2,736,000	106,000
長期借入による収入	4,750,085	1,286,000	1,650,560
長期借入金の返済 による支出	1,290,874	2,706,418	3,896,037
社債の発行による収入		308,000	308,000
社債の償還による支出	192,000	70,000	162,000
株式の発行による収入		150,000	4,649,344
配当金の支払額	256,849	83,250	83,250
その他		9,800	33,240
財務活動による キャッシュ・フロー	13,900,361	1,630,131	2,605,856
現金及び現金同等物に係る 換算差額		2	2
現金及び現金同等物 の増加(減少)額	6,652,960	522,240	7,842,632
現金及び現金同等物 の期首残高	10,193,746	2,370,945	2,370,945
連結範囲変更に伴う現金 及び現金同等物の減少額		19,832	19,832
現金及び現金同等物 の中間期末(期末)残高	3,540,785	2,873,354	10,193,746

## 5. セグメント情報

### 〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期（自平成17年4月1日至平成17年12月31日）

（単位：千円）

	トータル バックシステ ム事業	メディカルサ プライ事業	ヘルスケア 事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,620,275	16,321,785	5,231,673	505,103	35,678,838	-	35,678,838
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	378,743	295,031	14,658	89,796	778,230	(778,230)	-
計	13,999,019	16,616,816	5,246,332	594,900	36,457,068	(778,230)	35,678,838
営業費用	12,392,115	16,146,093	5,068,283	551,989	34,158,482	(18,758)	34,139,724
営業利益 (又は営業損失)	1,606,903	470,723	178,048	42,910	2,298,585	(759,471)	1,539,114

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) トータルバックシステム事業

医療機器及び医療設備等の一括受注販売、医療・保健・福祉施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等

(2) メディカルサプライ事業

医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等

(3) ヘルスケア事業

調剤薬局及び介護付有料老人ホームの運営等

(4) その他事業

理化学及び環境機器等の販売、動物病院の運営、不動産(医療機関等に対するもの以外)の賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、696,481千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。

前年同四半期（自平成16年4月1日至平成16年12月31日）

（単位：千円）

	トータル バックシステム 事業	メディカルサ プライ事業	ヘルスケア 事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,899,836	12,470,188	4,396,259	608,326	31,374,611	-	31,374,611
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	302,150	94,130	-	113,578	509,859	(509,859)	-
計	14,201,987	12,564,319	4,396,259	721,904	31,884,470	(509,859)	31,374,611
営業費用	12,601,276	12,052,593	4,303,488	639,458	29,596,817	71,106	29,667,923
営業利益 (又は営業損失)	1,600,710	511,725	92,771	82,446	2,287,653	(580,965)	1,706,687

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) トータルバックシステム事業

医療機器及び医療設備等の一括受注販売、医療・保健・福祉施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等

(2) メディカルサプライ事業

医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等

(3) ヘルスケア事業

調剤薬局及び介護付有料老人ホームの運営等

(4) その他事業

理化学及び環境機器等の販売、不動産(医療機関等に対するもの以外)の賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、557,113千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。

前連結会計年度（自平成16年4月1日至平成17年3月31日）

（単位：千円）

	トータル バックシステム 事業	メディカルサ プライ事業	ヘルスケア 事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	28,602,169	17,384,908	6,027,695	845,903	52,860,676	-	52,860,676
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	328,622	508,071	-	114,096	950,790	(950,790)	-
計	28,930,792	17,892,979	6,027,695	960,000	53,811,466	(950,790)	52,860,676
営業費用	25,869,967	17,362,465	5,797,794	862,395	49,892,623	254,151	50,146,774
営業利益 (又は営業損失)	3,060,824	530,513	229,900	97,605	3,918,843	(1,204,941)	2,713,901

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) トータルバックシステム事業

医療機器及び医療設備等の一括受注販売、医療・保健・福祉施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等

(2) メディカルサプライ事業

医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等

(3) ヘルスケア事業

調剤薬局及び介護付有料老人ホームの運営等

(4) その他事業

理化学及び環境機器等の販売、不動産(医療機関等に対するもの以外)の賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、912,236千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。